

履修モデル（参考例）

履修登録の参考とするための履修モデルを示します。本履修モデルは、あくまでも参考例であり、課程修了のための最小限の履修単位数を示しています。履修登録上限単位数（年間48単位）の範囲内で積極的に履修してください。

(1) 理学療法学科

i 2020年度以降入学生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 情報リテラシー(1) 物理基礎(1) 統計学(2) 人間関係論(1) 英語Ⅰ－1(1)	基礎演習Ⅱ(1) 基礎数学演習(1) 化学基礎(1) 健康科学論(1) 英語Ⅰ－2(1)	解剖学Ⅰ(2) 解剖学実習(1) 生理学演習(2) 運動学Ⅱ(2) 病理学(1) 理学療法概論(2) 理学療法演習Ⅰ－2(1)	解剖学Ⅱ(2) 生理学(2) 運動学Ⅰ(2) 人間発達学(2) 理学療法演習Ⅰ－1(1) 見学実習(1)
	外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)		(必要に応じて選択科目を履修)	
2年次	英語Ⅱ－1(1)	英語Ⅱ－2(1)	生理学実習(1) 薬学(1) 臨床医学総論(1) 神経内科学(2) 内科学(2) リハビリテーション医学(1)	運動学実習(1) 栄養学(2) 整形外科学(2) 小児科学(1) 精神医学(2) 就労支援サービス(2)
	(必要に応じて選択科目を履修)		専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 運動解剖学(2) 理学療法評価学(2) 理学療法演習Ⅱ－1(1) 運動器系理学療法評価学演習(1) 内部障害系理学療法評価学演習(1) 理学療法治療学(2) 日常生活活動学(2) 地域理学療法学(2) 検査測定実習(1)	
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)		理学療法研究法(1) 理学療法演習Ⅲ(1) 神経系理学療法学実習(1) 日常生活活動学実習(1) 物理療法学(2) 予防理学療法学(1)	理学療法管理学(2) 運動器系理学療法学実習(1) 内部障害系理学療法学実習(1) 義肢装具学実習(1) 小児理学療法学(2) 評価実習(6)
			(この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		チーム医療演習(1) 理学療法特論(2)	理学療法演習Ⅳ(1) 総合臨床実習(11)
			(必要に応じて選択科目を履修)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12 単位	1 単位	10 単位	21 単位	—	—	44 単位
2年次	2 単位	—	—	43 単位	1 単位	—	46 単位
3年次	—	—	—	20 単位	—	5 単位	25 単位
4年次	—	—	—	15 単位	—	—	15 単位
合計	14 単位	1 単位	10 単位	99 単位	1 単位	5 単位	130 単位

ii 2016年度から2019年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 統計学(2) 心理学(2) 英語Ⅰ－1(1)	基礎演習Ⅱ(1) 生活と物理(2) 健康とリハビリテーション(2) 英語Ⅰ－2(1)	解剖学Ⅰ(2) 生理学(2) 運動学Ⅰ(2) 運動生理学(2) 病理学(2)	解剖学実習(1) 生理学演習(2) 運動学Ⅱ(2) 人間発達学(2) 臨床医学総論(1)
	外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)		理学療法演習Ⅰ－1(1) 理学療法概論(2) (必要に応じて選択科目を履修)	
2年次	英語Ⅱ－1(1)	英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅱ(2) 運動学実習(1) 内科学(2) 小児科学(1) 精神医学Ⅰ(2)	生理学実習(1) 整形外科科学(2) 神経内科学(2) リハビリテーション医学(1)
			理学療法演習Ⅱ－1(1) 理学療法診断学(2) 理学療法評価学実習(1) 運動解剖学(2)	理学療法演習Ⅱ－2(1) 理学療法評価学(2) 運動療法学(2) 臨床実習Ⅱ(2)
			(この他に選択科目から7単位分の授業科目を選んで履修)	
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)		理学療法演習Ⅲ－1(1) 物理療法学(1) 内部障害系理学療法学実習(1) 義肢装具学実習(1) 運動器系理学療法学(2) 神経系理学療法学(2) 日常生活活動学(2) 臨床運動学(2) 高齢者理学療法学(1) 臨床実習Ⅲ(5)	理学療法演習Ⅲ－2(1) 内部障害系理学療法学(2) 義肢装具学(2) 理学療法治療学(2) 運動器系理学療法学実習(1) 神経系理学療法学実習(1) 日常生活活動学実習(1) 理学療法マネジメント(1) 地域理学療法学(1)
			(この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		理学療法特論(2) 臨床実習Ⅳ(10)	理学療法演習Ⅳ(1)
			(必要に応じて選択科目を履修)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	12 単位	1 単位	3 単位	23 単位	—	39 単位
2年次	2 単位	—	3 単位	27 単位	7 単位	39 単位
3年次	—	—	4 単位	30 単位	5 単位	39 単位
4年次	—	—	—	13 単位	—	13 単位
合計	14 単位	1 単位	10 単位	93 単位	12 単位	130 単位

(2) 作業療法学科

i 2020年度以降入学生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 情報リテラシー(1) 基礎数学演習(1) 物理基礎(1) 化学基礎(1) 統計学(2) 健康科学論(1) 人間関係論(1) 英語Ⅰ-1(1) 英語Ⅰ-2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅰ(2) 解剖学Ⅱ(2) 解剖学実習(1) 生理学(2) 生理学演習(2) 運動学Ⅰ(2) 病理学(1) 作業療法概論(2) 基礎作業学(2) 作業療法評価学(2) 臨床実習Ⅰ(見学実習)(1) (必要に応じて選択科目を履修)
2年次	英語Ⅱ-1(1) 英語Ⅱ-2(1) (必要に応じて選択科目を履修)	生理学実習(1) 運動学Ⅱ(2) 運動学実習(1) 人間発達学(2) 薬学(1) 栄養学(2) 臨床医学総論(1) 整形外科学(2) 神経内科学(2) 小児科学(1) 内科学(2) 精神医学(2) リハビリテーション医学(1) 就労支援サービス(2) 神経心理学(2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 作業療法演習Ⅰ-1(1) 研究法概論(1) 身体作業療法評価学演習(2) 精神作業療法評価学演習(2) 発達作業療法評価学演習(1) 日常生活評価学演習(1) 作業療法演習Ⅰ-2(1) 身体障害作業療法治療学(2) 精神障害作業療法治療学(2) (必要に応じて選択科目を履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	基礎作業学演習(1) 作業療法管理学(2) 老年期作業療法学(2) 発達障害作業療法治療学演習(1) 高次脳機能障害治療学(2) 身体障害作業療法治療学演習(2) 精神障害作業療法治療学演習(2) 日常生活活動学演習(1) 作業療法演習Ⅱ-1(1) 作業療法演習Ⅱ-2(1) 義肢装具学(2) 地域生活支援学(2) 地域作業療法学(2) 臨床実習Ⅱ(地域実習)(1) 臨床実習Ⅲ(評価実習)(5) (この他に選択科目から1単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習(1) 作業療法学特論(1) 臨床実習Ⅳ(総合実習)(9) 臨床実習Ⅴ(総合実習)(9) (必要に応じて選択科目を履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目			専門科目			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12 単位	1 単位	10 単位	19 単位	—	—	42 単位
2年次	2 単位	—	—	37 単位	1 単位	—	40 単位
3年次	—	—	—	27 単位	—	1 単位	28 単位
4年次	—	—	—	20 単位	—	—	20 単位
合計	14 単位	1 単位	10 単位	103 単位	1 単位	1 単位	130 単位

ii 2016年度から2019年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 統計学(2) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から8単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅰ(2) 解剖学Ⅱ(2) 解剖学実習(1) 生理学Ⅰ(2) 生理学Ⅱ(2) 運動学Ⅰ(2) 病理学(2) 臨床医学総論(1) 作業療法概論(2) 基礎作業学実習(2) 作業療法入門実習(1) 作業療法評価学(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (必要に応じて選択科目を履修)	生理学実習(1) 運動学Ⅱ(2) 運動学実習(1) 人間発達学(2) 整形外科学(2) 内科学(2) 神経内科学(2) 小児科学(1) 高次脳機能学(2) リハビリテーション医学(1) 精神医学Ⅰ(2) 精神医学Ⅱ(2) 身体作業療法評価学演習(2) 精神作業療法評価学演習(1) 老年作業療法評価学演習(1) 発達作業療法評価学演習(1) 身体障害作業療法治療学(2) 精神障害作業療法治療学(2) 義肢装具学(2) 作業療法演習Ⅰ-1(1) 作業療法演習Ⅰ-2(1) (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	基礎作業学演習(1) 老年期障害作業療法治療学(2) 発達障害作業療法治療学(2) 高次脳機能障害治療学(2) 身体障害作業療法治療学演習(2) 精神障害作業療法治療学演習(1) 義肢装具学演習(1) 日常生活活動学演習(2) 職業関連活動学(1) 生活環境学演習(1) 地域作業療法学(2) 作業療法演習Ⅱ-1(1) 作業療法演習Ⅱ-2(1) 臨床実習Ⅰ(評価実習)(6) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	作業療法演習Ⅲ(1) 臨床実習Ⅱ(総合実習)(8) 臨床実習Ⅲ(総合実習)(8) 作業療法学特論(2) (必要に応じて選択科目を履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目			専門科目		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10単位	1単位	8単位	21単位	2単位	42単位
2年次	2単位	—	—	33単位	3単位	38単位
3年次	—	—	4単位	25単位	2単位	31単位
4年次	—	—	—	19単位	—	19単位
合計	12単位	1単位	12単位	98単位	7単位	130単位

(3) 人間コミュニケーション学科／福祉心理学科

i 人間コミュニケーション学科 入学生・転学科生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 情報リテラシー(1) 健康科学論(1) 人間関係論(1) 英語Ⅰ－1(1)	基礎演習Ⅱ(1) 心理学と心理的支援(心理学概論)(2) 発達心理学(2) コミュニケーション論(1) 英語Ⅰ－2(1)	社会福祉雄原理と政策 a(2) 臨床心理学概論(2) 医学概論(人体の構造と機能及び疾病)(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(1)	社会学と社会システム(2) 社会・集団・家族心理学(2) 学習・言語心理学(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(1)
	人間基礎科目群中、選択必修科目から1科目を選択 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から9単位の授業科目を選んで履修)		専門基礎科目群基礎医学系、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から2単位の授業科目を選んで履修)	
2年次	英語Ⅱ－1(1)	英語Ⅱ－2(1)	精神医学と精神医療A(精神疾患とその治療1)(2) 神経・生理心理学(2)	障害者福祉(2)
	(必要に応じて選択科目を履修)		社会福祉調査の基礎(2) 福祉心理学基盤演習Ⅲ(2) 感情・人格心理学(2) 福祉心理学基盤演習Ⅳ(2)	
			専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から24単位の授業科目を選んで履修)	
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)		精神医学と精神医療B(精神疾患とその治療2)(2) 社会保障 b(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2)	社会保障 a(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2)
			(この他に選択科目から30単位の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		チーム医療演習(1)	
			福祉心理学専門演習Ⅲ(2)	福祉心理学専門演習Ⅳ(2)
			(この他に選択科目から4単位の授業科目を選んで履修)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の受験資格を目指す場合は、P87・90・93 に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12 単位	2 単位	9 単位	14 単位	1 単位	2 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	—	14 単位	1 単位	24 単位	41 単位
3年次	—	—	—	10 単位	—	30 単位	40 単位
4年次	—	—	—	5 単位	—	4 単位	9 単位
合計	14 単位	2 単位	9 単位	43 単位	2 単位	60 単位	130 単位

ii 福祉心理学科 2021年度入学生・1年次転学科生/2022年度2年次転学科生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 情報リテラシー(1) 心理学と心理的支援(心理学概論)(2) 健康科学論(1) 発達心理学(2) 人間関係論(1) 英語Ⅰ-1(1) 英語Ⅰ-2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から11単位分の授業科目を選んで履修)	社会福祉原理と政策a(2) 社会学と社会システム(2) 臨床心理学概論(2) 社会・集団・家族心理学(2) 医学概論(人体の構造と機能及び疾病)(2) 学習・言語心理学(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(1) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(1)
2年次	英語Ⅱ-1(1) 英語Ⅱ-2(1) (必要に応じて選択科目を履修)	精神医学と精神医療A(精神疾患とその治療1)(2) 障害者福祉(2) 神経・生理心理学(2) 社会福祉調査の基礎(2) 感情・人格心理学(2) 福祉心理学基盤演習Ⅲ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅳ(2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から24単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	精神医学と精神医療B(精神疾患とその治療2)(2) 社会保障a(2) 社会保障b(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から30単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習(1) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の受験資格を目指す場合は、P87・90・93 に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

※ 2年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	11 単位	1 単位	11 単位	14 単位	—	3 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	—	14 単位	1 単位	24 単位	41 単位
3年次	—	—	—	10 単位	—	30 単位	40 単位
4年次	—	—	—	5 単位	—	4 単位	9 単位
合計	13 単位	1 単位	11 単位	43 単位	1 単位	61 単位	130 単位

iii 福祉心理学科 2020年度入学生/2021年度2年次転学科生/2022年度3,4年次転学科生適用

① 社会福祉関係

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 情報リテラシー(1) 心理学(2) 健康科学論(1) 発達心理学(2) 人間関係論(1) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から7単位分の授業科目を選んで履修)	現代社会と福祉Ⅰ(2) 社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 社会調査の基礎(2) 児童福祉(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅱ(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅰ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	就労支援サービス(2) 高齢者福祉(2) 介護福祉(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 相談援助の理論と方法Ⅰ(2) 相談援助の理論と方法Ⅱ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 相談援助演習Ⅰ(2) 相談援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	社会保障論Ⅱ(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 更生保護制度(1) 福祉行財政と福祉計画(2) 福祉サービスの組織と経営(2) 相談援助の理論と方法Ⅲ(2) 相談援助の理論と方法Ⅳ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から23単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要があります。 ・相談援助演習Ⅲ(2) ・相談援助演習Ⅳ(2) ・相談援助実習指導Ⅰ(2) ・相談援助実習指導Ⅱ(2) ・相談援助実習(6)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習(1) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要があります。 ・相談援助演習Ⅴ(2) ・相談援助実習指導Ⅲ(2) ・相談援助実習(6)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 社会福祉士と同時に精神保健福祉士の受験資格を目指す場合は、P88・91 に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

※ 3,4年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	11 単位	1 単位	7 単位	18 単位	—	4 単位	41 単位
2年次	2 単位	—	4 単位	28 単位	1 単位	5 単位	40 単位
3年次	—	—	—	17 単位	—	23 単位	40 単位
4年次	—	—	—	5 単位	—	4 単位	9 単位
合計	13 単位	1 単位	11 単位	68 単位	1 単位	36 単位	130 単位

② 精神保健福祉関係

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 情報リテラシー(1) 心理学(2) 健康科学論(1) 発達心理学(2) 人間関係論(1) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)	現代社会と福祉Ⅰ(2) 社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) (この他に選択科目から8単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から1単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 就労支援サービス(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 障害者福祉(2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 Ⅰ(2) Ⅱ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	社会保障論Ⅱ(2) 福祉行財政と福祉計画(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 Ⅲ(2) Ⅳ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービス 精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ(2) Ⅱ(2) 精神障害者の生活支援システム(2) 精神保健福祉援助演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から18単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(2)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習(1) 精神保健福祉援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助演習Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習(8)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 精神保健福祉士と同時に社会福祉士の受験資格を目指す場合は、P88・91 に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

※ 3, 4年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	11 単位	1 単位	10 単位	10 単位	—	8 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	1 単位	32 単位	1 単位	5 単位	41 単位
3年次	—	—	—	22 単位	—	18 単位	40 単位
4年次	—	—	—	7 単位	—	2 単位	9 単位
合計	13 単位	1 単位	11 単位	71 単位	1 単位	33 単位	130 単位

③ 発達臨床心理関係

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 情報リテラシー(1) 心理学(2) 健康科学論(1) 発達心理学(2) 人間関係論(1) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から7単位分の授業科目を選んで履修)	現代社会と福祉Ⅰ(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 心理データ解析(2) 心理データ解析Ⅱ(2) (この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 臨床心理学(2) 神経心理学(2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 心理アセスメント法(2) 心理学基礎実験(2) 臨床発達心理学(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から12単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	心理アセスメント法Ⅱ(2) 心理療法(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から32単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習(1) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

※ 3, 4年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	11 単位	1 単位	7 単位	12 単位	—	9 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	4 単位	22 単位	1 単位	12 単位	41 単位
3年次	—	—	—	8 単位	—	32 単位	40 単位
4年次	—	—	—	5 単位	—	4 単位	9 単位
合計	13 単位	1 単位	11 単位	47 単位	1 単位	57 単位	130 単位

iv 福祉心理学科 2018年度から2019年度入学生/2020年度2年次転学科生/2021年度3, 4年次転学科生/2021年度編入学生適用

① 社会福祉関係 (2018年度から2019年度入学生/2020年度2年次転学科生/2021年度3, 4年次転学科生適用)

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)	社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 児童福祉(2) 社会調査の基礎(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅰ(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	高齢者福祉(2) 介護福祉(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 相談援助の理論と方法Ⅰ(2) 相談援助の理論と方法Ⅱ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 相談援助演習Ⅰ(2) 相談援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	社会保障論Ⅱ(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 就労支援サービス(1) 更生保護制度(1) 福祉行財政と福祉計画(2) 福祉サービスの組織と経営(2) 相談援助の理論と方法Ⅲ(2) 相談援助の理論と方法Ⅳ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から21単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助演習Ⅲ(2) ・相談援助演習Ⅳ(2) ・相談援助実習指導Ⅰ(2) ・相談援助実習指導Ⅱ(2) ・相談援助実習(6)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助演習Ⅴ(2) ・相談援助実習指導Ⅲ(2) ・相談援助実習(6)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 社会福祉士と同時に精神保健福祉士の受験資格を目指す場合は、P89・92 に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

※ 3, 4年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10 単位	1 単位	6 単位	22 単位	2 単位	41 単位
2年次	2 単位	—	2 単位	26 単位	10 単位	40 単位
3年次	—	—	4 単位	16 単位	21 単位	41 単位
4年次	—	—	—	4 単位	4 単位	8 単位
合計	12 単位	1 単位	12 単位	68 単位	37 単位	130 単位

② 社会福祉関係（2021年度編入生適用）

※単位認定において総合基礎科目領域18単位、専門科目領域30単位が認められた場合。

	総合基礎科目領域	専門科目領域
3年次	健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)	社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 社会保障論Ⅱ(2) 児童福祉(2) 社会調査の基礎(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅰ(2) 相談援助の基盤と専門職Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 相談援助の理論と方法Ⅰ(2) 相談援助の理論と方法Ⅱ(2) 相談援助演習Ⅰ(2) 相談援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から7単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助実習指導Ⅰ(2) ・相談援助実習指導Ⅱ(2) ・相談援助実習(6)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	高齢者福祉(2) 介護福祉(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 就労支援サービス(1) 更生保護制度(1) 福祉行財政と福祉計画(2) 福祉サービスの組織と経営(2) 相談援助の理論と方法Ⅲ(2) 相談援助の理論と方法Ⅳ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修) ※社会福祉士国家試験受験を目指すためには 下記選択科目を履修する必要がある。 ・相談援助演習Ⅲ(2) ・相談援助演習Ⅳ(2) ・相談援助演習Ⅴ(2) ・相談援助実習指導Ⅲ(2) ・相談援助実習(6)

※()内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択	認定	必修	選択	認定	
—	—	—	18 単位	—	—	30 単位	48 単位
3年次	4 単位	3 単位		34 単位	7 単位	—	48 単位
4年次	—	—		30 単位	4 単位	—	34 単位
合計	4 単位	3 単位	18 単位	64 単位	11 単位	30 単位	130 単位

③ 精神保健福祉関係 (2018年度から2019年度入学生/2020年度2年次転学科生/2021年度3, 4年次転学科生適用)

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)	社会理論と社会システム(2) 社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) (この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 障害者福祉(2) 保健医療サービス(2) 公的扶助(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 就労支援サービス(1) 地域福祉の理論と方法Ⅰ(2) 地域福祉の理論と方法Ⅱ(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	社会保障論Ⅱ(2) 福祉行財政と福祉計画(2) 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(2) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ(2) 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ(2) 精神障害者の生活支援システム(2) 精神保健福祉援助演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から18単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(2)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	精神保健福祉援助演習Ⅱ(2) 福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修) ※精神保健福祉士国家試験受験を目指すためには下記選択科目を履修する必要がある。 ・精神保健福祉援助演習Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(2) ・精神保健福祉援助実習指導Ⅲ(2) ・精神保健福祉援助実習(8)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 精神保健福祉士と同時に社会福祉士の受験資格を目指す場合は、P89・92 に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

※ 3, 4年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10 単位	1 単位	6 単位	14 単位	9 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	2 単位	31 単位	5 単位	40 単位
3年次	—	—	4 単位	20 単位	18 単位	42 単位
4年次	—	—	—	6 単位	2 単位	8 単位
合計	12 単位	1 単位	12 単位	71 単位	34 単位	130 単位

④ 発達臨床心理関係 (2018年度から2019年度入学生/2020年度2年次転学科生/2021年度3, 4年次転学科生適用)

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ(1) 基礎演習Ⅱ(1) 心理学(2) 健康とリハビリテーション(2) 発達心理学(2) 英語Ⅰ－1(1) 英語Ⅰ－2(1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から6単位分の授業科目を選んで履修)	社会保障論Ⅰ(2) 現代社会と福祉Ⅰ(2) 心理学理論と心理的支援(2) 現代社会と福祉Ⅱ(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 心理データ解析(2) 心理データ解析Ⅱ(2) (この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修)
2年次	英語Ⅱ－1(1) 英語Ⅱ－2(1) (この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2) 精神保健の課題と支援Ⅰ(2) 精神保健の課題と支援Ⅱ(2) 児童心理学(2) 神経心理学(2) 心理アセスメント法(2) 心理学基礎実験(2) 生理心理学(2) 臨床発達心理学(2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ(2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から12単位分の授業科目を選んで履修)
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	心理アセスメント法Ⅱ(2) 心理療法(2) 福祉心理学専門演習Ⅰ(2) 福祉心理学専門演習Ⅱ(2) (この他に選択科目から30単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	福祉心理学専門演習Ⅲ(2) 福祉心理学専門演習Ⅳ(2) (この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目・単位に応じて適宜履修してください。

※ 3, 4年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	10 単位	1 単位	6 単位	14 単位	9 単位	40 単位
2年次	2 単位	—	2 単位	24 単位	12 単位	40 単位
3年次	—	—	4 単位	8 単位	30 単位	42 単位
4年次	—	—	—	4 単位	4 単位	8 単位
合計	12 単位	1 単位	12 単位	50 単位	55 単位	130 単位